

ふうど館

- 物件名：ふうど館
- 住所：堺町3-18
- 電話：27-1111
- 所有運営者：ホクレン農業協同組合連合会
- 主任と人員：西村和彦（館長）13人
- 建物履歴：
 - 大正8年 ホクレン起点としての多久和自邸
 - 昭和17年 戦時体制により陸軍補給司令部に提供
(写真2)
 - 平成4年 旧ホクレンの古式に準じて新築
※北聯（ほくれん）
 - 大正6年 産組中央会北海道支部設立
 - 大正7年 第1回全道産業組合大会開催
「組合の共同仕入と共同販売の必要性提起」
小林篤一峰延信用購買販売組合長と多久和
力之進小樽信用購買組合長との会談で聯合
会設立の機運向上。多久和組合長は永山、
鷹栖、上多寄、智恵文、奈井江、芽室、小樽、
峰延の8組合に発起人を呼びかける。
 - 大正8年 保証責任北海道信用購買販売組合聯合會」
設立このときの事務所が多久和自邸2階
(写真1)。現日藤メモリアルガーデン（六
花亭・北菓楼前広場で日藤事務所）。
これが現ホクレンの起点で、小樽の堺町か
らホクレンはスタートした。
これは小樽が物流基地であったことを背景
に、北見のハッカ（世界の70%市場独占）
輸出や道内の農産物を道外移出をする絶好
の拠点に相応しかったことによる。



外観



1階陶芸売り場



1階北海道土産売り場

■外観

旧ホクレンの古式に準じて新築

■内観

回廊式スロープによる展示

■内容

ホクレンは平成4年に札幌に集約されることとなり、小樽支店が空き家に。ホクレン発祥と文化発信を考え、「農業は土が基本、土といえば器、宇土我々といえば陶器」という着想から北海道の風土、食の風土、陶芸の風土というサイクルをコンセプトとし「ふうど館」と命名。1階を販売、2階を展示、3階を教室に使用。

■コンセプト

ホクレン発祥である誇りと、サイクルコンセプト説明をスタッフに徹底。

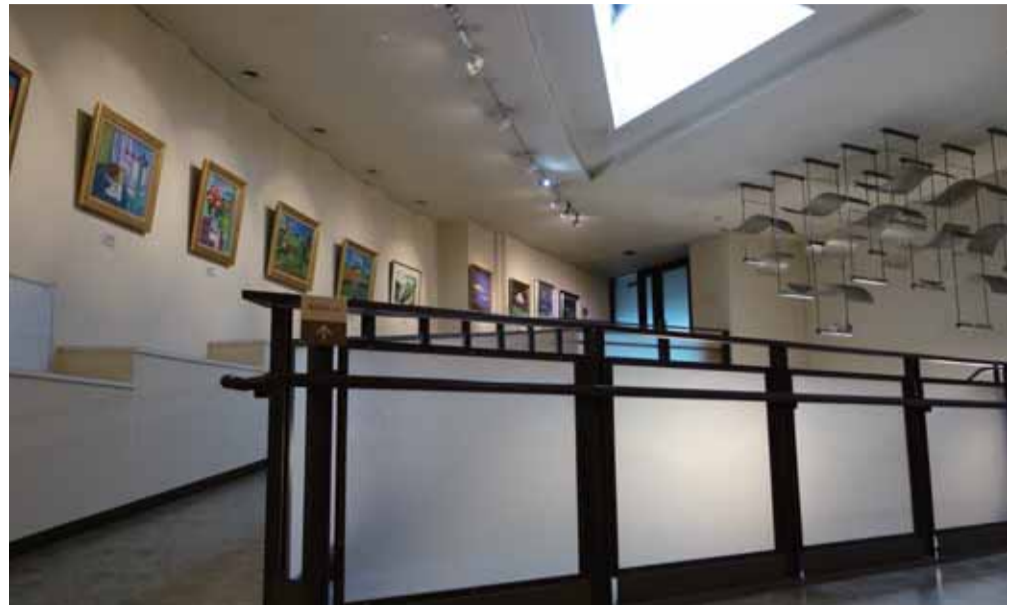
■客層

地元0.5%、海外17%、道外60%

ふうど館



カフェ店内



回廊ギャラリー



ギャラリー



回廊式階段



現在のふうど館以前の建物



現在の六花亭前にあった社屋



創業記念碑